

平成 28 年度 第 1 回
魚津市子ども・子育て会議会議録

平成 29 年 3 月 23 日 (木)

平成 28 年度 第 1 回 魚津市子ども・子育て会議

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 23 日 (木) 13 時 30 分から 15 時 10 分まで
- 2 場 所 魚津市役所 第一委員会室 (4 階)
- 3 出席者 【魚津市子ども・子育て会議委員 (16 名)】

奥田 實	(富山県立大学 名誉教授)
本元 義明	(魚津市社会福祉協議会 会長)
安田 恵美子	(魚津市民生委員児童委員協議会 主任児童委員)
竹内 優子	(魚津市保育研究会 会長)
坂本 真紹	(魚津市民間保育連盟 会長)
山浦 春美	(魚津市幼稚園教育研究会 代表(大町幼稚園長))
西田 雅美	(明星幼稚園 (民間幼稚園) 主任(幼稚園教諭))
原 一美	(魚津市小学校長会 代表 (道下小学校長))
稲垣 位知郎	(魚津市中学校長会 会長)
稗畠 由美子	(魚津市 P T A 連合会 副会長)
石倉 啓子	(うおづ女性の会 監事)
大嶋 昭子	(魚津市母子保健推進員連絡協議会 副会長)
吉浦 由雄	(魚津市自治会連絡協議会 副会長)
西尾 秀樹	(連合富山魚津地域協議会 幹事)
高木 寛子	(公募)
江口 葉子	(公募)

欠席者【魚津市子ども・子育て会議委員 (3 名)】

中嶋 寿絵	(新川厚生センター魚津支所 支所長)
高瀬 忠次	(魚津市公民館連合会 代表 (経田公民館長))
長沼 潔	(魚津商工会議所 事務局長)

傍聴人 (2 名)

事務局

新浜 義弦	(民生部長)
殿村 伸二	(教育委員会教育次長)
中山 明夫	(こども課長)
宝田 哲	(学校教育課長)
初道 ゆかり	(健康センター母子保健係長)
田村 理子	(学校教育課 学校教育係長)
石浦 満理子	(こども課 子育て支援係長)
山本 春美	(こども課 保育係長)

4 審議内容

1 開会

(事務局)

只今より平成 28 年度第 1 回魚津市子ども・子育て会議を開催する。開催に先だって魚津市民生部長新浜義弦より挨拶をする。

2 あいさつ

(民生部長)

平素より当市の児童福祉を始め各分野においてご協力いただき厚く御礼申し上げます。人口減少への対応において、健やかな子どもの成長は本市にとって最重要課題の一つである。魚津市子ども子育て支援事業計画の進捗状況等についてご説明する。新年度においては、同時入所の 2 人目の子どもについて保育料無料化等々、子育てしやすい環境づくりに努めていきたいと考えているが、一方保育士確保、放課後児童クラブのあり方など、多くの課題を抱えている。新年度は子ども子育て支援事業計画の中間年でもあり、課題を一つ一つ解決していきたいと考えている。今後ともご協力をお願いする。

(委員長)

子ども達は環境を整えてあげればいろんな可能性がある。そのような機会をつくるような形で審議を進めていただきたい。早速会議を始めたいと思う。

2 報告事項

⇒事務局より、報告事項(1)魚津市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について、資料①に基づき説明

(委員長)

この報告事項について質問、ご意見があれば挙手をお願いしたい。

9 ページの子育て講演会の目標 18 回であったのが 2 回に終わったとのことだが、何か原因は考えられるのか。

(事務局)

各園で 1 回ずつの目標であったが、実際行われたのが 2 園であった。

(委員長)

予算がない等の原因ではないのか。

(事務局)

そのような理由ではない。

(山浦委員)

6 ページのボランティア情報の情報提供 5 件の目標が 0 件であったことの何について原因を分かる範囲で伺いたい。

(事務局)

魚津市社会福祉協議会内のボランティア協議会にて市と連絡を取り合っているが、その中で提供がなかった。今年度に関しては、会議の中で情報提供しているとのことだ。

(委員長)

具体的にはどこがどこに向けて情報を提供しているのか。

(事務局)

魚津市が社会福祉協議会と定期的にボランティアに関する情報交換を行っている。子育てに関するボランティアではあるが、詳しくは把握していないため、確認してお知らせする。

⇒事務局より、報告事項(2)保育所等の利用定員について、資料②に基づき説明

(委員長)

ご意見、ご質問があれば挙手をお願いしたい。

質問なし

⇒事務局より、協議事項(1)当面の放課後児童クラブの進め方について、資料③④⑤⑥に基づき説明

(委員長)

既存の施設も活用しながら進める施策に近づけていこうとのことであるが、この件に関して、ご質問、ご意見はないか。

児童センターは、使用目的等にルール・規則はあるのか。説明では遊戯室を学童用に利用することであったが、利用してはいけない等あるのか。

(事務局)

運営形態が学童に特化してしまうなら、利用者に周知が必要であると考えますが、児童センターを閉じる訳ではないため、活用できる範囲で利用していきたい。

(委員長)

放課後子ども教室等と学童を一緒に行こうというのが国の方針なのか。

(事務局)

国が押し進めている放課後子ども総合プランは、保護者が家にいない児童だけではなく、すべての児童の安全・安心な放課後の居場所づくりを進めるもので、学校の教室・同一敷地内の建物を活用

が前提となっている。魚津市については小学校の統合をしていく中で、余裕教室が発生してこない。教室を活用した一体的な計画の実施が難しい。現在学童保育は児童センターで行っているが、すずめ児童センター以外は小学校から距離がある。すずめ児童センターは小学校と隣接しており、一体的に実施できるとすればすずめ児童センターのみである。

(高木委員)

こぼと児童センターが閉館するとのことであるが、こぼと児童センターに代わる児童センターの整備はないのか。建物の有効利用として、新たに児童センターはできないのか。土曜日、こぼと児童センターの学童保育を利用していたが、今後どうなるのか。

(事務局)

こぼと児童センターについては平成 29 年度末に建物の老朽化により廃止する。市の方針としては、新たな児童センターの整備は予定していない。こぼと児童センターで実施している放課後児童クラブについては、統合校のよつば小学校下の放課後児童クラブ（現村木小学校 2 階）の受入れになる予定である。

児童センターについて、学童保育の利用が多数を占める現状で、ひばり児童センターについては放課後児童クラブに特化できないかと考えている。日曜日子ども達が利用できる施設がないという指摘もあり、5 館ある児童センターのうち、一部の児童センターを日曜開館するなど運営形態について今後考えていかなければならない。

⇒事務局より、協議事項(2)土曜拠点保育について、資料⑦に基づき説明

(委員長)

土曜保育の利用には、事前申込や登録は必要なのか。

(事務局)

現状は、事前申込が必要である。利用前月の月末までに事前申込していただいているが、随時緊急の申込にも必要に応じて対応している。

(委員長)

全く知らない保護者が土曜保育の送迎をすることが考えられるが。

(事務局)

拠点園には利用する子どもの年齢や状況を考慮し、必要があればその利用する子どもの所属している園の保育士が保育に従事すること、アレルギー情報を共有して、安全に万全を期すということを考えている。

⇒事務局より、その他(1)平成 29 年度新規事業について、資料⑧⑨⑩に基づき説明

⇒事務局より、その他(2)その他について、追加資料(住吉保育園民営化)に基づき説明

⇒事務局より、今後のスケジュールについて説明

(事務局)

平成 29 年度が魚津市子ども・子育て支援事業計画の中間年に当たり、今後見直しが必要な事項について委員の皆様にお諮りする必要がある場合にはお願いしたい。また、委員の皆様の任期が平成 29 年 7 月 31 日までとなっており、引き続き委員をお願いする委員におかれてはお願い申し上げる。

(委員長)

その他なければ閉会としたい。

8 閉会

(事務局)

奥田委員長、ありがとうございました。委員の皆様にも貴重なご意見を賜りましたことに御礼申し上げます。本日はお疲れ様でした。

以上